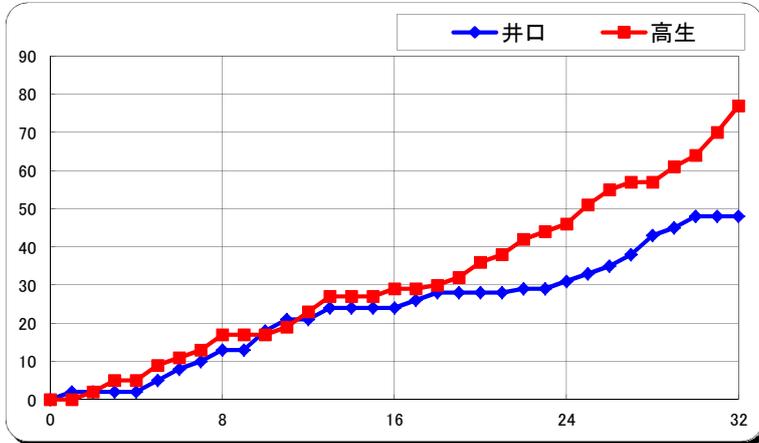




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	蓮田市総合市民体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 13:30																
コート	Gコート	第4試合															
カテゴリ	男子	予選Gリーグ															
主審	田島 直樹 (埼玉県)																
副審	若林 哲 (埼玉県)																
Team A		Team B															
井口 (広島県)	48	77 高生 (福岡県)															
	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>31</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	13	1st	17	11	2nd	12	7	3rd	17	17	4th	31	OT			
13	1st	17															
11	2nd	12															
7	3rd	17															
17	4th	31															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		井口						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	菅野 裕也	×	3	1	0	0	4	
5	澤井 豪志	×	4	0	2	0	1	
6	朝原 逸生	×	3	1	0	0	2	
7	宮野 龍也	×	11	2	1	3	2	
8	宇根本 昇太	/	0	0	0	0	0	
9	脇阪 友真	/	2	0	1	0	0	
10	柳川 幹也	×	25	5	3	4	3	
11	平稻 皐輝	/	0	0	0	0	1	
12	川上 隼平	DNP	0	0	0	0	0	
13	川端 涼平	DNP	0	0	0	0	0	
14	北澤 拓巳	DNP	0	0	0	0	0	
15	小林 一心	DNP	0	0	0	0	0	
16	石山 裕也	DNP	0	0	0	0	0	
17	杉金 慎一郎	DNP	0	0	0	0	0	
18	田邊 勇樹	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小田 実						0	
コーチ	植木 一郎						0	
合計			48	9	7	7	13	

Team B		高生						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	安村 荘佑	×	1	0	0	1	3	
5	山口 礼継	×	29	0	13	3	2	
6	仁木 慎也	×	7	0	3	1	3	
7	白石 敦暉	DNP	0	0	0	0	0	
8	黒田 侑	DNP	0	0	0	0	0	
9	江藤 航太	DNP	0	0	0	0	0	
10	藤田 優輝	DNP	0	0	0	0	0	
11	井上 貴文	DNP	0	0	0	0	0	
12	久保田 義章	×	12	2	3	0	0	
13	徳永 勇太郎	/	1	0	0	1	0	
14	平佐 幸嗣	DNP	0	0	0	0	0	
15	草野 亜怜	×	27	0	13	1	1	
16	永久 翔一	DNP	0	0	0	0	0	
17	中原 龍世	DNP	0	0	0	0	0	
18	徳永 隼人	DNP	0	0	0	0	0	
監督	山内 哲也						0	
コーチ	平山 礼子						0	
合計			77	2	32	7	9	

【戦評】

両チームハーフマンツーマンDefでスタート。井口#10のジャンプシュート高生#15の1on1からのジャンプシュートで反撃。基本に忠実なプレーの高生は1on1を果敢に仕掛け、#15のリバウンドシュートで流れをつかむ。一方、井口は#10がゲームを組み立てる。1Q、13-17で高生がリード。2Qもディフェンスは変わらずハーフマンツーマンで守りを固める両チーム。1on1からのリバウンドを確実に取る高生#15。2Qだけで高生#15は16点を取る。井口はゲームメイクする#10が14点を取る。24-29で高生リードで終了。

後半スタート、井口#10が3Pでファウルを誘い、フリースロー2本を決める。井口も2-2-1ゾーンプレスから2-3のゾーンに変えたが、ミス誘えず高生が速攻に持ち込む。両チーム激しい守り合いから、高生の速攻で#5のレイアップシュートに井口はたまたらタイムアウト、残り5分15秒。流れが変わらないまま3Q、31-46で高生リードのまま終了。4Q、両校マンツーマンDefで守るが、高生は固い守りから、よく走り速攻で得点を伸ばす。井口#10に高生#4がマッチアップ。しつこい守りに対して果敢にシュートを打つが、高生の勢いを止めることもできず、47-77で高生が勝利を収めた。

【戦評記入者】

竹村 学